

製品名: FAP1 (17O11) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10830**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:200,IF-P 1:100-1:200
分子量	88kDa

抗原情報

遺伝子名	FAP
別名	170 kDa melanoma membrane bound gelatinase; DPPIV; FAP; FAPA; Seprase;
遺伝子 ID	2191.0
SwissProt ID	Q12884
免疫原	ヒト線維芽細胞活性化タンパク質 α の組み換えタンパク質

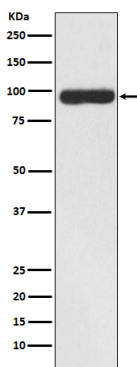
背景

DPP4と関連して、細胞外マトリックス (ECM) の細胞周縁タンパク質分解、および ECM への内皮細胞の遊走と浸潤に関与しています。発達および創傷治癒における組織リモデリングに関与し、悪性癌の浸潤に寄与している可能性があります。細胞表面糖タンパク質セリンプロテアーゼは、細胞外マトリックスの分解に関与し、組織リモデリング、線維化、創傷治癒、炎症、腫瘍増殖など、多くの細胞プロセスに関与しています。細胞膜型と可溶性の両方が、 α -2-アンチプラスミン SERPINF2 や SPRY2 などの基質に対して、Ala/Ser-Gly-Pro-Ser/Asn/Ala コンセンサス配列を著しく優先するポストプロリン切断エンドペプチダーゼ活性を示します (PubMed:14751930、PubMed:16223769、PubMed:16480718、PubMed:16410248、PubMed:17381073、PubMed:18095711、PubMed:21288888、PubMed:24371721)。ゼラチン、熱変性 I 型コラーゲンも分解しますが、天然の I 型および IV 型コラーゲン、ビトロネクチン、テネイシン、ラミニン、フィブロネクチン、フィブリン、カゼインは分解しません (PubMed:9065413、PubMed:2172980、PubMed:7923219、PubMed:10347120、PubMed:10455171、PubMed:12376466、PubMed:16223769、PubMed:16651416、PubMed:18095711)。また、ジペプチジルペプチダーゼ活性を有し、最後から 2 番目の残基がプロリンである合成ジペプチド基質の N 末端から 2 残基のプロリル結合を加水分解する能力を示し、Ala-Pro、Ile-Pro、Gly-Pro、Arg-Pro、および Pro-Pro を優先します (PubMed:10347120、PubMed:10593948、PubMed:16175601、PubMed:16223769、PubMed:16651416、PubMed:16410248、PubMed:17381073、PubMed:21314817、PubMed:24371721、PubMed:24717288)。ジペプチジルペプチダーゼの天然神経ペプチドホルモンは、神経ペプチド Y (NPY)、ペプチド YY (PYY)、サブスタンス P (TAC1)、脳ナトリウム利尿ペプチド 32 (NPPB) です (PubMed:21314817)。細胞膜型は、DPP4、PLAUR、またはインテグリンのいずれかと結合して、細胞外マトリックス (ECM) の細胞周囲タンパク質分解に関与し、ECM を介した細胞接着、遊走、浸潤を促進します。発生および創傷治癒の過程で組織リモデリングに役割を果たします。悪性黒色腫における ECM への細胞浸潤に関与しています。血管新生、コラーゲン線維分解、アポトーシスを増加させ、免疫系の抗腫瘍反応を低下させることにより、腫瘍の成長進行を促進します。プロテオグリカンプレビカンを分解することにより、脳実質を介した神経膠腫細胞の浸潤を促進します。セリンプロテアーゼ活性に依存しない方法で細胞増殖と生存を調節することにより、メラノサイト細胞の腫瘍抑制因子として作用します。

研究分野

細胞生物学

画像データ



U-87 MG 細胞溶解物中の FAP1 発現のウエスタンブロット解析。